

| | | | | | |
|---------------|--|----|----|------|----|
| 授業科目名(英文名) | 建築設計特論B (Theory of the architectural design B) | | | | |
| 担当者名 | 西村 謙司 | | | | |
| 学年 | 1 | 学期 | 後期 | 必修選択 | 選択 |
| 教科書 | 適宜配布します。 | | | | |
| 目的または到達目標 | 建築設計の過程を原初的に再考し、建築設計の理想的なあり方を究明する。特に、建築設計の表現手法に関して、その形式と内容のあり方を根源的に問い直し、人間の本来的な知覚構造の究明と共に建築設計のあり方自身を解明することを試みる。これらの反省的考察をふまえて、本来あるべき建築家の立場と指標を究明することを授業の目的とする。 | | | | |
| 授業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 建築設計の過程 2 建築設計 基本と実施 3 建築の現場 4 建築平面表現 図面再考 5 建築立体表現 3D空間の展開 6 建築表現の形式と内容 絵・図・言葉 7 建築表現の内容について 8 建築設計の端緒 イメージということ 9 建築造形とイメージ 10 建築言語の形象 エスキースの過程 11 建築設計 以前・以後 12 建築家の倫理 13 建築家の立場 14 建築家の指標 15 現代建築の課題 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 受講心得 | 建築設計に関する専門授業を実践的な状況を前提として行うものです。将来建築士をめざす技術者の基礎的知識と技術を習得することを念頭に授業を行いますので、その心得をもって受講してください。 | | | | |
| 課題・質問等の受付方法 | | | | | |
| 授業の形式 | 輪読形式 | | | | |
| 履修上の注意または履修条件 | 1級建築士の実務経験認定関連科目に指定されている講義です。建築学科の卒業生を対象とする専門科目となります。 | | | | |
| 成績評価の方法 | 受講態度・出席・レポート等にて総合的に評価します。 | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | | | | | |